

NTT DATA

AWS Summit Japan 2025

クラウド活用を加速する、 NTTデータの伴走型CCoEコンサルティング

2025年6月25日

株式会社NTTデータグループ

渡邊 諒

登壇者紹介



渡邊 諒

所属

技術革新統括本部 C&I技術部

業務内容

- クラウド基盤システムのコンサル、開発・運用
- 運用改善・高度化支援



はじめに

本セッションテーマであるCCoEに関して、アマゾン ウェブ サービス (AWS)より公式ドキュメントやブログにて多くの情報が公開されております。

CCoEに興味を持たれた方は、こちらの資料もご参照いただけますと幸いです。

AWS 公式ドキュメント※1

The screenshot shows the AWS Prescriptive Guidance page for '組織内での Cloud Center of Excellence の構築'. The page includes a navigation menu on the left with sections like '序章', 'CCoE ができること', 'CCoE フェーズ', 'CCoE の教義', 'CCoE KPIs', 'CCoE 関数', 'CCoE 構造の例', '概要', 'Do's and don't', '結論', 'リソース', '寄稿者', 'ドキュメント履歴', and '用語集'. The main content area features the title '組織内での Cloud Center of Excellence の構築', download buttons for PDF and RSS, and a note about machine translation. The article is dated November 2023 and is authored by Amazon Web Services.

AWS公式ブログ

The screenshot shows an AWS blog post titled '越境 CCoE 談義 - 後編'. The post is tagged with 'CCOE' and is dated March 3, 2025. The author is YAMAIZUMI Wataru. The article discusses the challenges of building a Cloud Center of Excellence (CCoE) across different organizations and regions, emphasizing the need for a shared vision and a focus on customer solutions, general innovation, and reinvention. It also mentions the importance of thought leadership and the role of the CCoE in driving digital transformation.

出典：[組織内での Cloud Center of Excellence の構築 - AWS 規範ガイド](#)

出典：[CCOE | Amazon Web Services ブログ](#)

※ 1 : 2023/11/15初版発行。

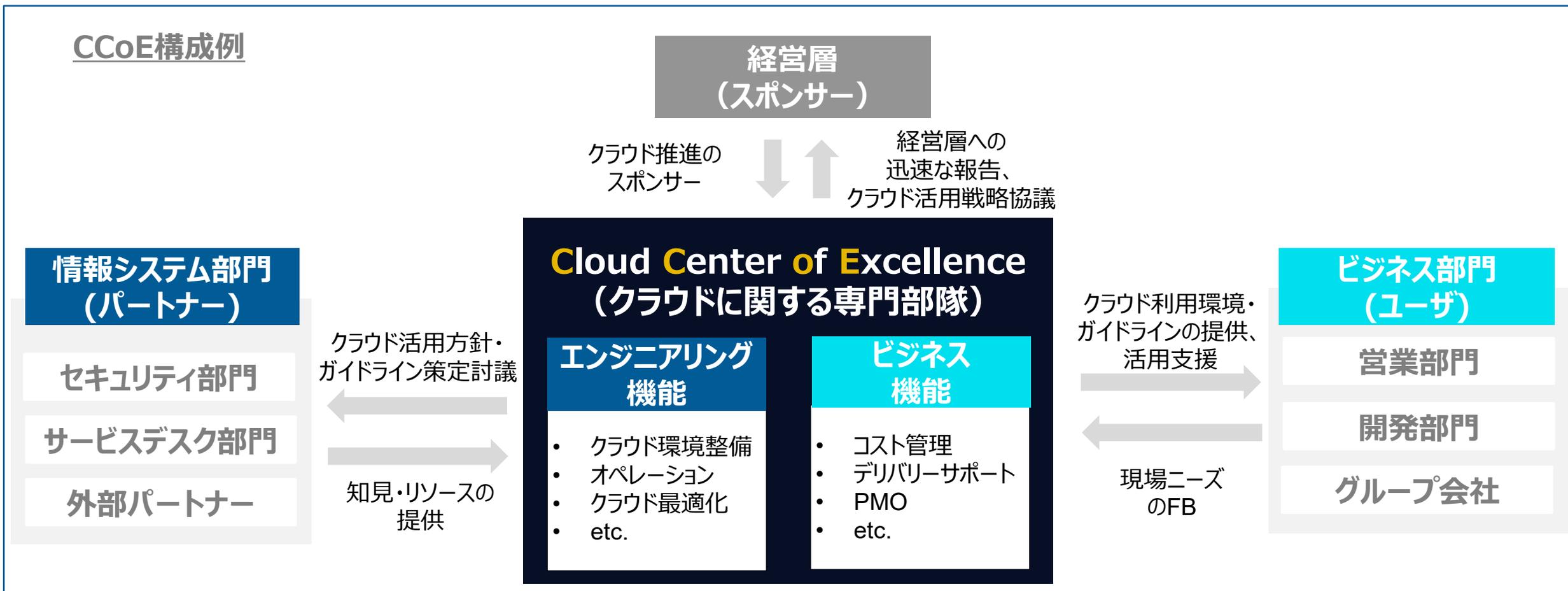
© 2025 NTT DATA Japan Corporation

CCoE(Cloud Center of Excellence)とは

CCoE(Cloud Center of Excellence)とは、

クラウド活用の知見を集約し、全社展開をリードする組織横断な専門部隊

CCoE構成例



CCoE(Cloud Center of Excellence)とは

CCoE(Cloud Center of Excellence)とは、

クラウド活用の知見を集約し、全社展開をリードする組織横断な専門部隊

CCoE構成例

CCoE組織が担うミッション

情報システム部門

セキュリティ部門

サービスデスク部門

外部パートナー

1. **経営層・ビジネス部門・情報システム部門のハブ組織**として、

クラウド活用方針・
ガイドライン策定討議

2. **コミュニケーションパスと課題を集約し、**

3. **迅速な課題解決・統一的なクラウド活用戦略の実現を推進**すること

提供

- クラウド環境整備
- オペレーション
- クラウド最適化
- etc.

- コスト管理
- デリバリーサポート
- PMO
- etc.

クラウド利用環境・
ガイドラインの提供、
活用支援

のFB

ビジネス部門

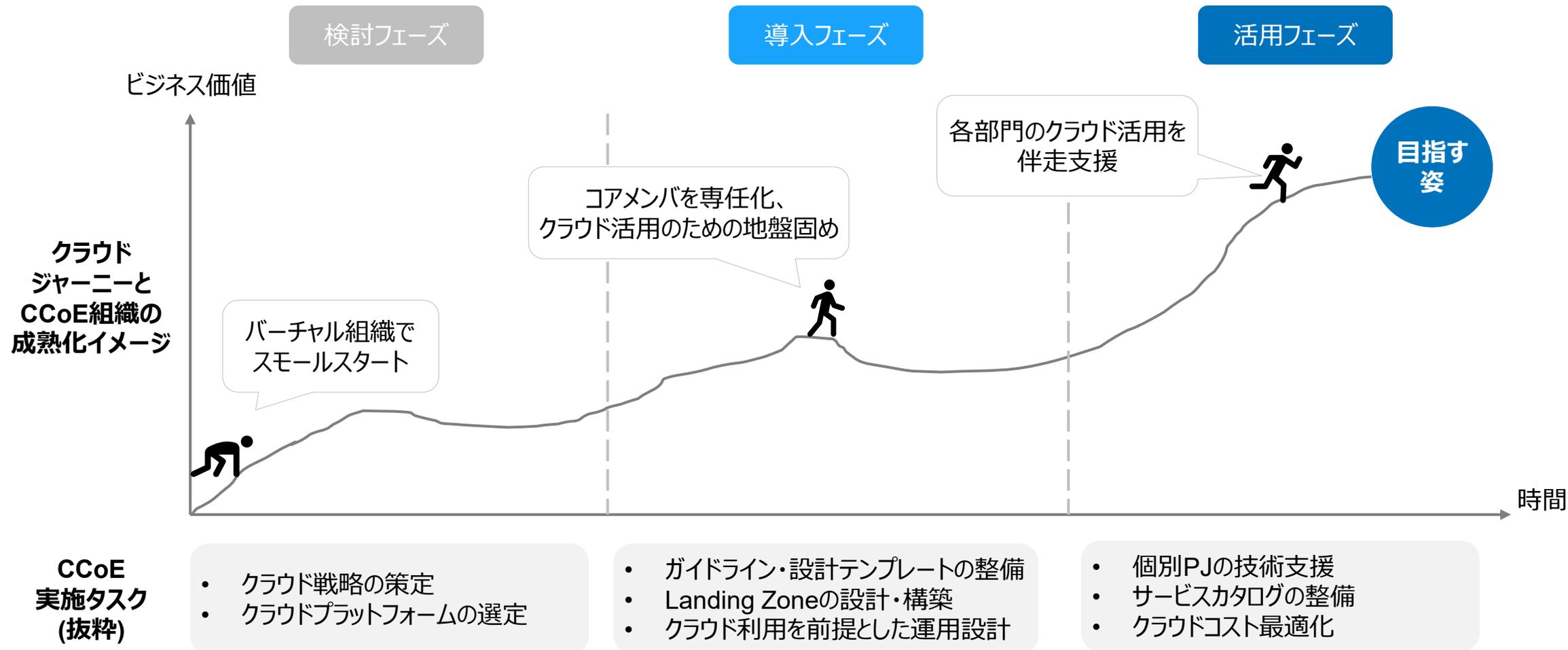
営業部門

開発部門

グループ会社

理想的なCCoE組織の成熟化プロセス

人と組織・クラウド成熟度に合わせて、CCoEの活動領域・タスクを拡大していき、最終的には、**CCoEがいなくても全部門でクラウド活用できる状態が理想形**。



CCoE組織における悩み

クラウドジャーニーの歩みに伴い、**CCoE組織では様々な悩みが発生。**

検討フェーズ



CCoEの活動領域・タスクはどのように決めたら、

- 他社事例をそのまま流用できない
- 組織がサイロ化している中でクラウド活用を推進するには、どのような体制作り・人材・会議体・コミュニケーションが必要なのか？



プラットフォームは何を選べば、

- クラウド基盤がたくさんあって何を選んだらいいかわからない
- それぞれの基盤の費用対効果を調べたいが、何からやればいいのか？

導入フェーズ



クラウド利用におけるセキュリティ対策はなにをしたら、

- 現状のセキュリティはどの程度安全？
- 安全にクラウドを利用するためのガイドライン整備はどうしたら？



運用は今まで通りでいいのか、

- クラウドならではの運用はどの様なことを考慮しなければならないのか？
- 既存オンプレミスとの統合運用はどうするのか？

活用フェーズ



現場から要望が来ているがリソース・スキルが不十分、

- 個別PJから技術支援要望が来ているが、リソース・スキルの面で既存のCCoE体制ではカバーできない



クラウド利用コストが肥大化している、

- クラウドリフトしたが、クラウド利用によるコストメリットを享受できていないためモダナイズしたい。
- 肥大化したクラウド運用コストを削減したいが、どのような施策が考えられるか？また、クラウド利用の拡大に合わせてどのようなコスト戦略を打ち出せばいいのか？

CCoE組織における悩み

クラウドジャーニーの歩みに伴って、CCoE組織では様々な悩みが発生。

検討フェーズ



CCoEの活動領域・タスクは
どのように決めたら、

- 他社事例をそのまま流用できない
- クラウド活用を推進するには、どのような人材・会議体が必要なのか？



プラットフォームは何を選べば、

- クラウド基盤がたくさんあって何を選んだらいいかわからない
- それぞれの基盤の費用対効果を調べたいが、何からやればいいのか？

導入フェーズ



クラウド利用における
セキュリティ対策はなにをしたら、

- 現状のセキュリティはどの程度安全？
- 安全にクラウドを利用するためのガイドライン整備はどうしたら？



運用は今まで通りでいいのか、

- クラウドならではの運用はどの様なことを考慮しなければならないのか？
- 既存オンプレミスとの統合運用はどうするのか？

活用フェーズ



現場から要望が来ているが
リソース・スキルが不十分、

- 個別PJから技術支援要望が来ているが、リソース・スキルの面で既存のCCoE体制ではカバーできない



クラウド利用コストが
肥大化している、

- クラウド利用の拡大に合わせてどのようなコスト戦略を打ち出せばいいのか？
- 肥大化したクラウド運用コストを削減したいが、どのような施策が考えられるか？

すべて、NTTデータにお任せください！

NTTデータの伴走型CCoEコンサルティングサービス

CCoE組織の立ち上げからお客様のクラウド活用推進まで、クラウドを熟知した有識者が伴走支援いたします。

検討フェーズ



CCoEの活動領域・タスクは
どのように決めたら、

CCoE立ち上げ支援

CCoEのベストプラクティスをもとに、
お客様にとって最適なCCoE組織の
設計・運営を支援



プラットフォームは何を選べば、

IT基盤アセスメント

既存システムのアセスメントを踏まえた、
最適なプラットフォーム選定・
クラウド活用による投資対効果の算出を支援

導入フェーズ



クラウド利用における
セキュリティ対策はなにをしたら、

セキュリティ対策ガイドライン策定支援

クラウド利用における新たな脅威やトレンドに
対するセキュリティの在り方を踏まえ、
最適なガイドラインの策定を支援



運用は今まで通りでいいのか、

クラウド運用最適化支援

クラウド利用を前提とした、
最適な運用方式・運用体制整備・
統合運用管理ツール導入を包括支援

活用フェーズ



現場から要望が来ているが
リソース・スキルが不十分、

クラウドマイグレーション支援

クラウドリフト/シフトにおける個別具体的な
技術的課題に対し、クラウド技術に熟知した
クラウド有識者が知見を提供



クラウド利用コストが
肥大化している、

クラウドモダナイゼーション支援

現状のクラウド運用コストを分析のうえ、
マネージドサービスをフル活用した
コスト削減施策・戦略の立案を支援

NTTデータの伴走型CCoEコンサルティングの特徴

クラウドジャーニーをワンストップで伴走！
クラウドに精通したエンジニアが、
アドバイザーとテクノロジーの両面から、クラウド活用推進を加速します。

特徴①

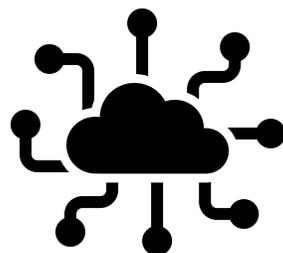
CCoEの立ち上げから
運営まで伴走支援



立ち上げ支援から運営まで、
クラウド利用の成熟度に応じて発生する
様々な課題を、クラウド有識者が伴走支援。

特徴②

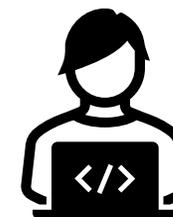
主要なメガプラットフォーム・
クラウド活用パターンに対応可能



マルチクラウド・ハイブリッドクラウドに対応。
併せて、最新のクラウド動向を踏まえた
知見提供が可能。

特徴③

CCoEに留まらず、開発・運用支援を
ワンストップで提供可能



工程に関わらず、クラウド導入の実行支援が可能。
また、各プラットフォームにおけるデザインパターン
提供やSRE as a Service/FinOps等の
クラウドモダナイゼーションも支援可能。

NTTデータの伴走型CCoEコンサルティングの実行イメージ

ステップ

1. アセスメント・活動領域定義

- アセスメントによる現状分析・課題の特定
- CCoEの活動領域・実施タスク・目指す姿を定義
- etc.

実施タスク
(サンプル)

2. 施策立案・実行

- クラウド導入ワークショップの実施
- クラウド導入ガイドライン・セキュリティガイドラインの執筆
- 共通機能・共通基盤アーキテクチャ検討
- etc.

3. クラウド移行・モダナイゼーション

- クラウドマイグレーション計画立案・実行
- クラウドモダナイゼーションロードマップ策定
- etc.

成果物
イメージ

クラウド適合度アセスメント結果 (ノックアウトファクター判定)

CCoE活動方針書



クラウド活用方針書

1. はじめに
 - 取組の背景
 - 実現したい世界観
2. 目的
3. 適用範囲
4. マイグレーション方針
 - 基本的な考え方
 - システム特異的移行方針
5. プロジェクト運営
 - プロジェクト全体体制
 - 会議体
 - スケジュール
 - …

クラウド導入 ガイドライン

共通機能定義・ 共通基盤アーキテクチャ図

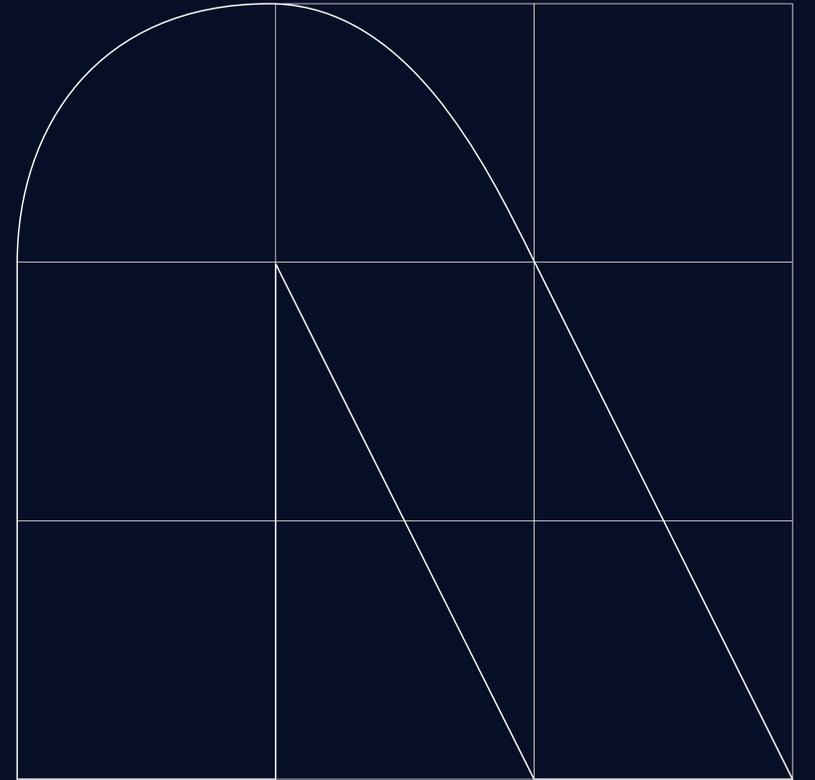


クラウドマイグレーション計画

クラウドモダナイゼーション ロードマップ



事例



事例紹介 | クラウド活用方針策定

検討
フェーズ

お客様課題

- クラウド=安い・速い・簡単という先入観からクラウド利用を検討し始めたが、自社にとって最適なクラウド活用の方針がわからず、検討が鈍化。

ポイント

- クラウド技術に精通したエンジニアとともにWhy クラウドを再検討。
- クラウド利用による恩恵を最大化するための戦略を練り、地に足ついたクラウド活用方針をロードマップ化。

クラウド利用で本当にITコストが安くなるのか、

- クラウド利用にあたって、なにか検討すべきことはないか、



①クラウド適合度アセスメント

クラウド適合度アセスメント (ノックアウトファクター判定)

項目	判定	理由	対応策
1	適合	要件を満たしている。	
2	適合	要件を満たしている。	
3	適合	要件を満たしている。	
4	適合	要件を満たしている。	
5	適合	要件を満たしている。	
6	適合	要件を満たしている。	
7	適合	要件を満たしている。	
8	適合	要件を満たしている。	
9	適合	要件を満たしている。	
10	適合	要件を満たしている。	
11	適合	要件を満たしている。	
12	適合	要件を満たしている。	
13	適合	要件を満たしている。	
14	適合	要件を満たしている。	
15	適合	要件を満たしている。	
16	適合	要件を満たしている。	
17	適合	要件を満たしている。	
18	適合	要件を満たしている。	
19	適合	要件を満たしている。	
20	適合	要件を満たしている。	
21	適合	要件を満たしている。	
22	適合	要件を満たしている。	



- 実施事項**
- クラウド適合度アセスメントの実施**
既存IT資産-クラウド活用のFit&Gapをはかるため、クラウド適合度アセスメントによるノックアウトファクターの有無の調査・整理を実施。クラウド利用による恩恵を最大化するための方向性を特定。
 - クラウド導入ワークショップの実施**
クラウド有識者にてワークショップを開催。クラウド利用によるコストメリットや、クラウド利用に伴って検討すべき内容の目線合わせを実施。クラウド導入プロセス・目指す姿を可視化。
- クラウド活用方針書ロードマップの策定**
クラウド活用によって目指すべき姿を踏まえ、どのような方針・ステップでクラウドを導入・活用していくかをロードマップ化。

- 効果**
- クラウド活用の結果、目指す姿を可視化
 - クラウド活用ロードマップ策定による、CCoE組織の活動加速

事例紹介 | ガイドライン・共通機能整備

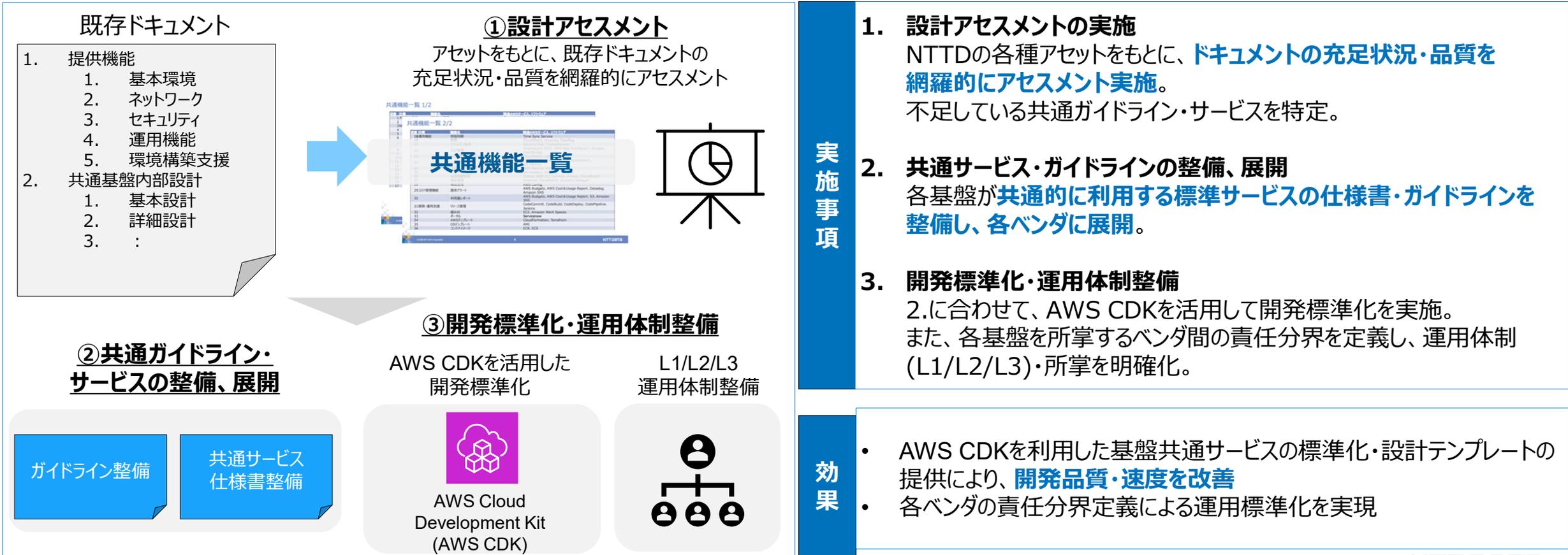
導入
フェーズ

お客様課題

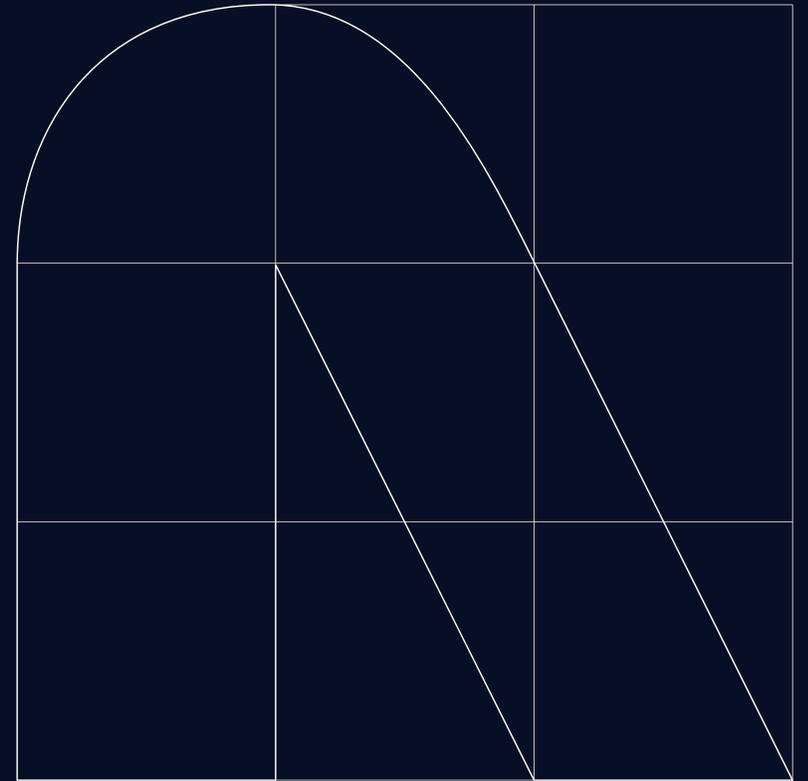
- マルチベンダにて複数のシステムにまたがるクラウド基盤の開発を進めていたが、**設計ガイドラインや共通サービス定義が不十分だったことを背景に開発が難航。**

ポイント

- 基盤開発ベンダとして参画していたが、お客様にCCoE活動の必要性を訴求・組織化。
- 各基盤の共通サービス・ベンダ間のすみ分けを定義し、開発・運用の標準化を実現。**



まとめ



まとめ

NTT DATAは、クラウドコンサルティングを通して、お客さまのビジネス価値を最大化し、かつ実現性の高い解決策をご提供します。

また、コンサルティングだけに留まらず、実際のITシステム開発もリードすることで、お客さまのDXを最後までサポートいたします。

クラウドで困ったらNTT DATAへ！

The image features a low-angle shot of several modern skyscrapers against a clear blue sky. The buildings are primarily white and grey with dark window patterns. In the foreground, there are some trees and a street with a few vehicles. The overall scene is a dense urban environment.

NTT DATA

本資料に掲載の会社名、商品名またはサービス名は、
それぞれ各社の商標または登録商標です。